

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	①保育園とは運動会への参加を始め交流がある。ホーム主催の夏祭りに、ボランティアとして自治会、婦人会の協力がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	①2か月に1回（偶数月、第三木曜日）に地域包括支援センター職員が出席し開催されている。 ②運営会議での意見（施設を地域の避難場所に提供）等があり、実現に向け取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	①月1回、介護相談員の訪問があり、情報交換を行っている。 ②市主催の講習会ならびに年2回開催の介護相談員との会議に出席している。	○
重点項目④		評価
	①家族会は設けていないが食事会、夏祭り等に家族が参加し、年2回以上、交流する機会がある。 ②面会時等意見、希望を話せる雰囲気づくりをしており、運営に（部屋の設定温度変更、ドライブ先）等を反映させている。 ③ホーム便りを毎月発行し、イベント等を掲載している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

老健と併設のため敷居が高く、地域の方々との関わりは難しいが、町の行事、ホームの行事には積極的に交流し地域とのつながりを深めている。運営推進会議も、回数を重ねる度に多数の意見等が出るようになり、意見に対して実現に向け取り組んでいる。市との連携は運営法人が地域包括支援センターを運営しており、連携はよくできている。家族との面談は積極的に行い、要望等を受け止め、改善に活かしている、毎月発行のホーム便りは、大きな写真入りで利用者の状況がよく分かり、家族から喜ばれている。

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。